

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 羅臼町立春松中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒086-1841
北海道目梨郡羅臼町八木浜町146番地

E-mail : haru146@seagreen.ocn.ne.jp

Website : http://shunshouchu.blog.ocn.ne.jp/

児童生徒数：男子 39 名 女子 37 名 合計 76 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

2013年度ユネスコスクール活動実践について ～羅臼町立春松中学校の取り組みの紹介～

昨年度報告した内容については以下の通り、今年度も引き続き活動した。2011年3月11日の東北大震災で岩手県釜石市津波で被災した中学校への支援活動や交流を、生徒会が中心となり行った。生徒会が作成した便りを釜石の中学校に送付する活動を昨年にも引き続き行うことができた。

主に総合的な学習の時間に「知床学」と称して、クマ学習や外来種についての内容を中心に、知床財団の職員を講師に招き授業を展開している。幼小中高一貫教育の教育計画の一環であり、興味関心を持つ・知る・発信をするの3段階を各学年で行う。知床財団と本校職員との事前打合せを行う中で、学習内容の他教科とのつながりや発達段階に応じた学習内容の設定に改善を続けている。

クマ学習は、財団講師を招いての授業は年2回、1年と3年で行う。クマとの共存を大きなテーマにして、1年生ではクマ遭遇時の対処法を中心に実地体験的要素を含めて学習する。3年生ではクマと共存する社会と題して、クマの行動範囲を知る学習を中心に行っている。

2年生は、生態系学習で、水辺の生物についてや外来種駆除学習をフィールドに出て実体験を交えながら学習する。

年2回の講演会では、環境省職員 三宅氏によるレンジャーの仕事についての講演、石弘之氏による自然保護についての講演を受け、理解を深めることができた。

これらの学習の成果をまとめ、町内でユネスコスクール研究発表会を12月に行った。本校からは2年生2名がプレゼンテーションを行った。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）